

2019年 11月 5日発行 第169号

N.P.O.

Global SOROBAN Institute

Seminar Report

通称:N.P.O.法人 I.M. そろばんセミナーレポート

Think with SOROBAN



発行 N.P.O.法人 I.M.そろばん

～ も く じ ～

巻頭言	1
ヒロヤの独り言	3
検定試験について	4
サイコウのまなび	5
事務局だより	6
研究集会のご案内（再）	8

“ 卷頭言 ”

英語民間試験に反対論、渦巻く

2020年度に始まる大学入学共通テストで導入される英語民間試験に、暗雲が垂れ込めている。文部科学省は実施する方針を変えないが、肝心の大学側や、試験を受ける高校側からは反対論が強まり、混迷している。

中学から大学までの10年間、英語は必修だった。しかし、ほとんどの学生、生徒は英語を喋れない。文法や難しい英単語はそらんじているが、英語をしゃべる機会はほとんどなく、英語の活字を読み取ることばかりに終始した教育を受けてきた。

グローバル化で「使える英語」の育成が、叫ばれるようになった。読解力に偏った日本の英語教育を、根本的に見直すべき、という議論が強くなった。

そこで文科省は13年に小中学校・高校を通じ英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）を重視した授業への改革計画を打ち出した。14年には中央教育審議会が大学入試で4技能を見るために民間試験の導入を答申した。

本来なら、文科省自身が「書く」「話す」を重視した試験内容を自ら開発すべきだったが、文科省にその力はない。20年度実施を目指していたので時間的にも無理だった。そこで、4技能の測定に実績がある民間試験に白羽の矢が立った。

しかし、受験開始が来年4月に迫り様々な疑問の声が、噴出ししている。

そもそも、入学試験を実施する大学側で、民間試験導入に消極的な声が増しに強くなっている。東北大、北海道大、京都工芸繊維大は20年度は採用しないことを、すでに表明している。岡山大は導入する方針を打ち出したものの、合否判定には使わない考えに転換した。東京大は、18年9月に早々と民間試験の成績提供を必須としないことを表明している。

試験を受ける高校側にも、反対論が強くなっている。19年9月、主に公立校の校長でつくる全国高校長協会（会長・都立西高校の萩原聡校長）は「受験生の不安が払拭されていない」と文科省に対し、実施の延期を求める異例の申し入れをした。

反対論一色、というわけではない。全国の私立中高校約2000校で作る日本私立中学高校連合会は、19年9月に「確実な実施」を求める要望書を文科省に提出した。私立と公立で意見が真っ向から対立しているわけだ。

新制度が発表された当初からあった評価の公平性への疑問が解消されていないことが、反対論の一番のポイントだ。

大都市の高校生と地方の高校生とでは、圧倒的に地方高校生が不利になる。文科省の制度設計では、現在の高校2年生が最初に受験する世代で、20年4～12月までの間に2回以上受検し、その成績が志望大学に提供される。東京や大阪の高校生なら、受検は簡単だ。しかし地方の受験生はそうはいかない。いちいち大都市の受検会場まで足を運ばなければならない。

例えば東北大学は18年12月、ホームページ上で「公平公正な受検体制の整備や成績評価など、様々な問題が指摘されているが、解決する見通しが立っていない」と、明確にノーを打ち出した。東北大の受験生は、当然のことながら東北地方の地方都市出身者が多い。2度の受検のために仙台に出てこなければならぬとなると、相当の負担だ。

例えば、新潟・佐渡の高校生。英語民間試験を佐渡の島の中でしてくれる可能性は少ない。会場を新潟市内に設定してくれる場合でも、海を渡ってこなければならぬ。

「裕福な家庭の生徒は受検料を気にせず、高校2年生の段階で何度も練習として受けられる」「交通費や宿泊費の負担について文科省は、何らかの補助を考慮しているのか」といった疑念の声が、高校側から湧き上がっている。

英語民間試験を実施する機関は、ケンブリッジ英語検定、GTEC、TEAP、TOEFLiBT など7つ。受検料は1回5800円から約2万5000円まで様々だ。

民間試験の評価も問題だ。7機関での受験生の英語力の評価は当然、偏りが出る。大学側は、その評価を鵜呑みにして良いのか、という疑念もある。そもそも大学側が受験生について「求める英語力」を、どのあたりに置くのかも、問題だ。

「高いレベル」を示せば受験生が減り、「英語力だけで入試を判断するのは、間違っている」といわれるだろう。低く設定すれば「その程度か」とヤユされる。

7機関とは別に、試験から撤退した機関も、出ている。大手のTOEICは19年7月、「申し込みから運営、成績の評価、提供に至るまでの処理が想定より複雑」と、早々と撤退を表明した。海外に本部がある実施団体が、世界共通のルールで運営しているものを、日本の大学入試のためだけに変えることは難しいという、判断もあったようだ。文科省から全国の中都市でも試験会場をセットしろ、と言われるのを見越して撤退を決めたともみられる。

英語教育に力を入れてきた私立の中高校は、「公立に差をつける絶好の機会」と、英語民間試験に賛意を示してきたが、私立中高校のほとんどが一枚岩かという、そうではない。地方都市の私立中高校は、公立の高校と同じような疑念を感じているようだ。

穴だらけの新大学入試英語の混乱。タイムリミットは、目前に迫っている。文科省による見切り発車は許されない。いや、そうすれば大きな社会問題に発展するだろう。ここは、とりあえず実施は延期、という方針を打ち出すべきだろう。

文部科学省は19年11月1日、急きよ、英語民間試験について「全体的に不備があると認めざるを得ない」として20年度導入を見送り、抜本的に制度を見直すことを発表した。

副理事長 猪熊建夫
(2019. 11.)

ヒロヤの独り言

2019年も間もなく終わろうとしている。

昨日、マラソンと競歩が東京から札幌へ会場を移す事に決まったようだ。原因はいろいろ考えられるが、8月の猛暑がマラソンと競歩の競技が気候に合わないらしい。我々大人の考えでは、マラソンと徒競走は気候に合わないことぐらいは考えに入っていた。東京都の小池知事は、気温が高いならロシアの樺太でもやればいけないかと皮肉っぽく話しておられた。

聞く所によると、東京都は既に道路を、マラソン当日に道路の気温をマラソンに適応するよう努力をしておられた。この時期開催される予定によって東京都は既に多大の出費をしておられるようであった。

どんな理由であろうとも、最初に東京と決めた以上、東京都は創意工夫をし、マラソンに適した徒競走に合った道路にすべきだろうというのが一般的な考えであろう。

オリンピック委員会は、東京都が開催日までにマラソン・徒競走に適応した道路事情に仕上げなければならない。

※11月10日セミナーは そろばんやとそろばん教育者との違いを詳しく説明させていただきます。

以上

副理事長 荒木 碩哉
(2019.11)

11月10日(日) 関東セミナー

講師：荒木 碩哉

会場：船橋勤労市民センター

時間：9：00～12：00

※参加申込は、事務局までお願いします。

Think with SOROBAN

第60回考えるそろばん検定試験施行日は12月15日(日)です。

試験日 令和元年 12月15日(日) 全国 一斉
試験会場 IM会員教場・公共施設
申込期間 令和元年 11月28日(木)～12月5日(木)
申込方法 所定の申込み集計表に必要事項を記入の上、ファックスまたはEメールにてお申込みください。

IMそろばん検定部FAX: 0297-86-6033

Eメールアドレス: im-kentei@imsoroban.com

受験料 12月6日(金)までに下記口座にお振込みください。

NPO法人 IMそろばん検定部

ゆうちょ銀行 10300-49758291

◆申込集計表等一式を配布いたします。検定の日程を確認の上お申し込みください。

次の考えるそろばん検定試験日程

第61回	2020年 2月28日(日)
第62回	2020年 4月26日(日)
第63回	2020年 6月28日(日)
第64回	2020年 8月16日(日)
第65回	2020年10月25日(日)

※検定試験の前には模擬問題練習が有効的です。

※検定試験問題見本のページは一通りご紹介させて頂きました。これからは是非模擬問題をお試し下さい。模擬問題はI.M.そろばん検定部、又は事務局へ電話・メールにてご用命下さい。

サイコウのまなび

日々変化する購買モデル

【AIDMAはもう古い？】

前回、『チラシやホームページ、セールスレターなど全般での第一段階が「Attention/注目してもらう」と述べてきました。ご存知の方も多いと思いますが、消費者が購買に至るまでの心理的変化をモデル化したものがAIDMAです。

AIDMAは、1920年代にサミュエル・ローランド・ホールという方が提唱したもので、インターネットの“イの字”もないような頃のものが今でも伝わっています。この購買モデルは今でも脈々と受け継がれていますが、やはり今の時代にそぐわない部分も出てきているのもまた事実です。そこで登場したのが、AISAS（アイサス）という購買モデルです。

ここまでは以前にも同じような話をしたことがあったように記憶していますが、定期的にウォッチしていると、出るものですね、新しい購買モデルが。それが「SIPS」です。SIPS自体は2011年に電通コミュニケーションデザインセンターが提唱したモデルで、TwitterやFacebookなどのSNSの活用を見越していることが特徴です。検索エンジンを利用して、情報を取得する「AISAS」に対し、SNSの利用を想定しています。2011年と言えば、SNSの先駆けと言われたmixi（ミクシィ）が衰退しはじめ、代わりにTwitterが名を上げ始めたころです。8年かけて、少しずつ浸透してきたこととなります。

購買モデル自体は、社会の変化に対応して日々していかってしかなるべきと思いますが、こうもポンポン新しいものが提唱されると、いったいどれが正しいのでしょうか。

【AISAS】

1. A...Attention : 認知・注意
2. I...Interest : 興味・関心
3. S...Search : 検索
4. A...Action : 行動
5. S...Share : 共有

【SIPS】

1. S...Sympathize : 共感する
2. I...Identify : 確認する
3. P...Participate : 参加する
4. S...Share & Spread : 共有&拡散する

【共通する部分がある？】

もう一つ紹介させてください。これは、口コミ前提に広がる場合の購買モデルです。

【VISAS】

1. Viral : 口コミ
2. Influence : 影響
3. Sympathy : 共感
4. Action : 購買行動
5. Share : 情報共有

いかがでしょうか？いずれも、共感や共有という段階を持っています。これは絶対に偶然ではありません。また、それぞれの提唱者自身も外すことができない段階であると判断しているのです。これを活かさない手はありません。問題は、どうやって活かすかということになりますが、まずは各々考えてみるということで、私の考え方はまた次の機会に。

2019年11月吉日 基藤 悠

臣

事務局だより

異常気象による被害のお心使いにお応えして・・・

10月は気象状態が悪く、雷による停電事件・中旬の台風等に驚きました。予定を立てて準備させていただいたI.M研究集会の件につきましては、何としても実行したい「小柳津 恒先生」のそろばん教育のお考えを学ぶなら今がその時！と計画されました。

しかし、台風による一連の気象条件により、先に延ばして実行せざるを得ず、変更させていただくことと相成りました事をまず、ご報告いたします。ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

早速、研究集会につきましては担当の先生より、今後の予定をご報告申し上げます。

上記台風については会員の先生よりご心をお返ししました。千葉県の台風につきましては予想外が多く伝えられ、事務局へのお問い合わせにお応えし、状況の一部をお伝えいたします。

I.M.事務局

<I.M.会員の皆様へ>

千葉縣市原市 川島君代

この度は、ご心配頂きありがとうございます。

9月の台風15号、そして今回の大雨被害について個人的ご報告です。市原市は一躍有名になりました。ご心配頂きありがとうございます。幸いテレビニュースに取り上げられるほどの被害はございませんでした。

15号では強風でとばされてきた「何か」が外の水道水の蛇口に当たったのでしょうか、根本から折れていました。自家水で停電していましたので噴水状態にはなりません。裏の小学校からは、畳1畳ほどの木製渡り廊下や簡易物置のトタン、長いものは6メートル強が数枚畑に届き、100メートルいじょうもはなれているところからどのようにして飛んできたのでしょうか。ご近所さんと首をかしげました。空を飛んできたと思像しますが、恐ろしいことです。その時に外にいたら間違いなく命を落としていたと思います。その他諸々の物が家の壁に突き刺さっており、抜き取りと穴ふさぎに追われました。

10月25日の大雨はスリリングでした。畑が冠水し池の様になり、作物が全く見えなくなりました。高滝ダムの放流でいよいよ住居部分も浸水かと覚悟しましたが、放流中止となり安堵しました。

翌日千葉教室に向かう際、養老川の増水の痕跡を確認しました。背筋が寒くなりました。ダムの放流が実施されていたら、浸水していたでしょう。

被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

大した被害もなく日常生活が送れており、生徒たちも元気に通塾しております。

ご心配ありがとうございました。

事務局よりお知らせ

1、台風19号による10月研究集会の延期について

IM そろばん研究集会「そろばんの原点を探る」小柳津 恒先生、珠算教育論輪読会を
令和2年1月12日(日)～13日(月・祝)

さいたま文化センターにて再企画いたしました。2日間の内容に変更はありません。

詳細については、次ページをご覧ください。お電話、Fax、Email などでお申込み下さいますよう宜しくお願い致します。

2、12月特別講演会 アラキヒロヤそろばんスクールハワイ校代表大島 秀明 先生による「今だから語る 日本の功績・ハワイ校37年のそろばん指導」

—2次申し込み受け付けております。定員になり次第締め切らせていただきます—

37年間ハワイでそろばん指導をされている大島先生が、12月27日、日本へ来られます。なぜ海外でそろばんが受け入れられたのか、生徒保護者とのコミュニケーションは？日本との違いや、今後のそろばん指導についてなど…今だから語れること、皆様の質問にも応じてくださいます。

詳細は別紙をご確認ください。参加申し込みをお待ち申し上げます。

— 令和2年 1月セミナーはお休みです。 —

第18回「I.M.そろばん研究集会」延期のお知らせ

この度、10月13日(日)・14日(祝)にて開催予定をしておりました研究集会でございますが、台風19号が今までに経験したことがない勢力で接近するとの予報を受け、参加者の安全を考慮した結果、延期することとなりました。

ご準備されていた皆様、ご参加予定の皆様には、ご迷惑をおかけしました。

つきましては、下記の通り日程を変更し開催させていただくこととなりました。小柳津恒先生『珠算教育論』の輪読会を開催します。このような機会はなかなか得られません。そろばん指導に関わられる先生方と共にご参加のお誘いを申し上げます。

記

■開催日：令和2年 1月12日(日)～13日(月・祝)

■会場：さいたま文化センター

・埼玉県さいたま市南区根岸1-7-1

※JR京浜東北線・武蔵野線 南浦和駅西口より徒歩8分

【12日(日)】

13:00～ 開 場 (受付)
13:30～ 開 会 (理事長挨拶)
14:00～ 『珠算教育論』の輪読会
17:00～ 一日目終了
17:30～ 懇親会

【13日(月・祝)】

9:30～ 各種問題・教材について
(検討会)
12:00～ 休憩
13:00～ 各先生の発表
17:00～ 閉 会

■参加費用：会 員 6,000円 (一日のみ参加 5,000円)

会員外 7,000円 (一日のみ参加も同額)

※参加費は下記口座へ振込でお願いします。

■申込方法：【 E-mail im@imsoroban.com 】 【 FAX 047-447-3898 】

■申込期日：11月30日(土)

振込先 郵便振込口座番号 00150-1-167246 I.M.そろばん 宛

※申込後のキャンセルにつきましては、返金いたし兼ねます。

【お問い合わせ：047-449-7765 事務局まで】

発 行	N.P.O.法人I.M.そろばん
発 行 日	2019年 11月 5日
発 行 人	荒木 光
企画・編集	山本亜季子
発 行 所	〒274-0806 千葉県船橋市二和西6-17-17
TEL	047-449-7765
FAX	047-447-3893
	E-mail: im@imsoroban.com
	URL: http://www.imsoroban.com